

報道機関 各位

資料提供 令和2年4月22日  
秋田空港管理事務所 総務班  
担当者 副主幹 佐々木 淳  
主査 佐々木 伸司  
TEL 018-886-3362  
美の国あきたネット掲載 (有)・無

## 令和元年度の秋田空港利用状況について

令和元年度の秋田空港の利用者数は、1,294,417人（搭乗率67.6%）で前年度より37,294人減少し、前年度比97.2%でしたが、平成27年から5年連続で利用者数が120万人を上回りました。

なお、チャーター便は、国内外合わせて92便、利用者数7,685人（搭乗率52.5%）でした。

### 1 路線別の動向

#### ①東京羽田線

利用者数は、864,196人（搭乗率71.4%）で前年度より31,076人減少し、前年度比96.5%であった。冬期の天候不良による欠航が少なかったことなどにより、2月までは前年並であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月は個人旅行者及び団体旅行者の利用がともに前年同月を大幅に下回った結果、年間では前年度を下回った。

#### ②名古屋中部線

利用者数は、73,244人（搭乗率68.2%）で前年度より1,134人減少し、前年度比98.5%であった。冬期の天候不良による欠航が少なかったことなどにより、2月までは前年並であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月は個人旅行者及び団体旅行者の利用がともに前年同月を大幅に下回った結果、年間では前年度を下回った。

#### ③札幌千歳線

利用者数は、118,102人（搭乗率54.2%）で前年度より1,170人増加し、前年度比101.0%であった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月は個人旅行者及び団体旅行者の利用がともに前年同月を大幅に下回ったものの、冬期の天候不良による欠航が少なかったことや、一部機材の大型化により、年間では前年度を上回った。

#### ④大阪伊丹線

利用者数は、231,190人（搭乗率63.3%）で前年度より5,031人増加し、前年度比102.2%であった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月は個人旅行客及び団体旅行客の利用がともに前年同月を大幅に下回ったものの、冬期の天候不良による欠航が少なかったことや、一部機材の大型化により、年間では前年度を上回った。

#### ⑤チャーター便

チャーター便は、秋田－台北間の国際定期チャーター便が60便、秋田－台北間ほかの国際チャーター便が19便、隠岐－秋田間を含む国内便が13便の合わせて92便であった。

利用者数は、国際定期チャーター便が3,863人（搭乗率39.0%）、国際チャーター便が3,187人（91.2%）、国内チャーター便が635人（搭乗率51.5%）、合わせて7,685人（搭乗率52.5%）であった。

## 2 貨物の動向

貨物の取扱数量は、入荷数量が674.2t、出荷数量が625.4t、合計で1,299.5tであった。入荷数量が108.0t減少、出荷数量も6.1t減少し、合計で114.1t減少した。入荷の主な品目は、精密機器や工業部品等で、出荷の主な品目は山菜や弁当等の食品類及び工業用部品ほかであった。

令和元年度の秋田空港利用状況

1 利用者数状況

(単位：便、人)

路線名	令和元年度						平成30年度						利用者数 増減	利用者数 対前年 同月比
	運航回数				利用者数	搭乗率	運航回数				利用者数	搭乗率		
	予定	実績	欠航数	欠航率			予定	実績	欠航数	欠航率				
東京羽田線(ANA)	3,614	3,579	35	1.0%	540,386	72.9%	3,650	3,610	40	1.1%	562,727	72.1%	△ 22,341	96.0%
東京羽田線(JAL)	2,864	2,843	21	0.7%	323,810	69.1%	2,920	2,886	34	1.2%	332,545	69.8%	△ 8,735	97.4%
東京羽田線(計)	6,478	6,422	56	0.9%	864,196	71.4%	6,570	6,496	74	1.1%	895,272	71.2%	△ 31,076	96.5%
名古屋中部線(ANA)	1,464	1,445	19	1.3%	73,244	68.2%	1,460	1,437	23	1.6%	74,378	69.9%	△ 1,134	98.5%
札幌千歳線(ANA)	1,464	1,458	6	0.4%	60,345	55.8%	1,460	1,441	19	1.3%	60,718	56.9%	△ 373	99.4%
札幌千歳線(JAL)	1,464	1,444	20	1.4%	57,757	52.6%	1,460	1,421	39	2.7%	56,214	52.1%	1,543	102.7%
札幌千歳線(計)	2,928	2,902	26	0.9%	118,102	54.2%	2,920	2,862	58	2.0%	116,932	54.5%	1,170	101.0%
大阪伊丹線(ANA)	2,196	2,183	13	0.6%	108,316	66.8%	2,190	2,160	30	1.4%	106,883	66.9%	1,433	101.3%
大阪伊丹線(JAL)	2,160	2,143	17	0.8%	122,874	60.5%	2,190	2,161	29	1.3%	119,276	60.3%	3,598	103.0%
大阪伊丹線(計)	4,356	4,326	30	0.7%	231,190	63.3%	4,380	4,321	59	1.3%	226,159	63.2%	5,031	102.2%
国内線計	15,226	15,095	131	0.9%	1,286,732	67.7%	15,330	15,116	214	1.4%	1,312,741	67.8%	△ 26,009	98.0%
国際チャーター便 (定期)	60	60	0	0.0%	3,863	39.0%	2	2	0	0.0%	188	57.0%	3,675	2054.8%
国際チャーター便	19	19	0	0.0%	3,187	91.2%	120	120	0	0.0%	18,117	85.9%	△ 14,930	17.6%
国内チャーター便	13	13	0	0.0%	635	51.5%	14	14	0	0.0%	665	56.5%	△ 30	95.5%
チャーター便計	92	92	0	0.0%	7,685	52.5%	136	136	0	0.0%	18,970	83.9%	△ 11,285	40.5%
全線合計	15,318	15,187	131	0.9%	1,294,417	67.6%	15,466	15,252	214	1.4%	1,331,711	68.0%	△ 37,294	97.2%

2 貨物取扱量

(※小数点以下第二位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。)

全線	令和元年度	平成30年度	増減
貨物入荷(t)	674.2	782.2	△ 108.0
貨物出荷(t)	625.4	631.4	△ 6.1
計(t)	1,299.5	1,413.6	△ 114.1